



ポスト2020地域スポーツの在り方 ～ 提 案 ～

スポーツクラブの継続と発展
～スポーツコミッションとの連携～

Life with Sports!

PIVOT FOOT

NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット 理事長 桑田 健秀

スポーツ界のテーマ

■ 競技力の向上と競技普及での国際競争力の強化
(2020年東京オリンピック開催)

■ スポーツ環境の整備とビジネスインフラの構築
で基本的な運営構造の改革
(東京五輪後のスポーツ環境を見据えて)

■ 地域の総合力の一つとしてのスポーツの価値観
作りと地域への還元および地域社会作りへの貢献
(地域のスポーツインフラとしての地域スポーツクラブ
ネットワークの構築)

1. 2020年後の地域スポーツレガシー

- ①地域でのスポーツ財産を**繋ぐ連携ネットワーク**（コーディネーション）作り
- ②有効的・効率的な情報流通と人材交流システム作り（人材育成含む）
- ③地域スポーツの**ソフトインフラ**（公益財として）の構築で十分なスポーツの場提供
- ④地域スポーツが地域の産業として**雇用**できるシステム作り

2. 総合型クラブとして

- ①スポーツを軸とした地域社会の問題解決型**プラットフォーム**（行政とのパートナーシップ）
- ②都道府県の**中間支援組織**（県連絡協議会）の充実と事業化
- ③自己財源確保システムのための**社会貢献事業体化**（ex.スポーツコミッション）
- ④競技スポーツ（プロ・アマ）のサポーターとしての連携協働システム作り
- ⑤トップアスリートのセンカンドキャリアとしての地域受け皿作り
- ⑥地域スポーツの**産業化・事業化**で安定雇用（専門家等）できる体制作り
- ⑦高齢化社会における元気高齢者作りと社会活動参画の受け皿作り
- ⑧地域包括的視点や産業・文化振興の地域の**拠点としてのリーダー**

※地域スポーツの社会的効果を第一に、経済的効果を付加する。画一的なものではなく、地域特性を十分に生かした方法で、地域独自に2020東京五輪に向け構築する

今後の動き

1. 2020年東京オリンピック開催

- ・ スポーツへの関心が高揚
- ・ ハード、ソフトのスポーツビジネスが活性化
- ・ 五輪後のレガシー（地域スポーツの役割が重要）

（総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、日本レクレーション協会、全国スポーツ推進委員連合、日本障害者スポーツ協会）

2. スポーツ庁設置でスポーツ行政の変化

- ・ オリンピック、パラリンピックの統一行政
- ・ 省庁間の調整（文科省・厚労省・国土交通省・経産省等）
- ・ 地域スポーツの振興（総合型スポーツクラブへの期待）

スポーツ界変革の一大ビッグチャンスが到来！！
総合型スポーツクラブへの期待も大！！

総合型スポーツクラブとしては！！

I.我がクラブは「運営」か「経営」か、どちらを目指すのか。

設立の原点は何だったのかの再確認が今必要では？

II.目標例

- A. 現状のまま運営が出来れば良い
- B. せめて運営スタッフの交通費、日当を支弁したい
- C. 指導者に相当の謝金を支弁したい
- D. 専任事務局員の給与を支弁したい
- E. クラブ事務所を構え、専任事務局員、指導者に給与を支弁したい
- F. 民間企業と同じように社会貢献事業体として経営したい

※全てのクラブが一律での議論ではなく、各クラブの状況や環境に応じて目標を設定し、階層別エリアネットワークの構築とそのリーダークラブの育成が今後必要であると考える！！

特に、上記C・D・E・Fを目指すクラブは

III.ボランティア、補助金だよりの運営からの脱却・自立(事業化)への挑戦

- A. マネージメントの強化
- B. 財源確保、人財確保

事業化への挑戦

1. 基本のスポーツ教室のソフト充実で参加費徴収
2. 指定管理取得や行政イベント事業の受託での安定財源確保
3. 補助金・助成金の効率的獲得と利用
4. **民間企業との事業連携**（1クラブ単体での対応は限界）
民間施設運営、健康経営プログラムの提供、企業運動会
プロモーションやマーケティングのサポート
5. 地域フィットネスクラブとの連携協働（指導者派遣）
6. 体育館、大ホール向け高天井用LED、柔道タタミ
（高津総合体育館、荒川区総合体育館）
7. 各クラブの指導者、経営者のコンサル
8. 他競技団体（アマ、プロ）との連携協働
9. 観光協会や商工会、商店街連合会等との連携協働
10. 地区体育協会やスポーツ推進員他地元関係団体との連携

リーダー・拠点クラブの社会的責任

階層別エリアネットワーク構築に向け

特に、2011年度以降文科省好循環プロジェクト事業受託クラブは、

1. 地域の拠点クラブとして地元クラブの発展に寄与する
2. 地域を俯瞰して見てクラブ間ネットワークをリードする
3. 行政、商工会（**企業**）、観光協会等他団体とのネットワークづくりを積極的にリードする
4. SC連絡協議会・地域広域センターとも連携し、中間支援組織の中核を担う
5. 地域でのスポーツを核としたソーシャルビジネスの基盤づくりを担う

クラブ間ネットワークの今後のテーマ

各県、各市区町村での特性を生かした**組織再編強化**が必要

1. **事業体**としての中間支援組織の組織強化
2. 会議体としての連絡協議会・広域センターと事業体との連携
3. 地元経済界等他団体との強固なネットワークづくり
4. 連絡協議会等ネットワークの法人化
5. スポーツコミッション等の設立

クラブ間ネットワークの現状

1. 連絡協議会の法人化

- (一社) 全国スポーツクラブコミッション
- (一社) 福島県総合型スポーツクラブ連絡協議会
- (一社) 彩の国SCネットワーク
- (一社) 東京スポーツクラブコミッション
- (一社) 神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク
- (NPO) 大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

2. 総合型ベースのスポーツコミッション (スポーツ庁地域振興)

- 掛川市体育協会 (静岡県掛川市)
- 留萌体育協会 (北海道留萌市)
- 出雲スポーツ振興21 (島根県出雲市)
- A-lifeなんかん (熊本県南関町)
- (一社) おおたスポーツコミッション (東京大田区)

◇ ◇ 第二期スポーツ基本計画における地域スポーツ組織化のポイント ◇ ◇
 ～全国・東京都・大田区事例～

-現 状-

-計画本文-

-総合型あり方提言-

-計画本文-

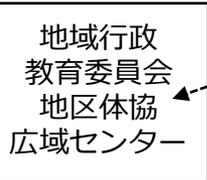
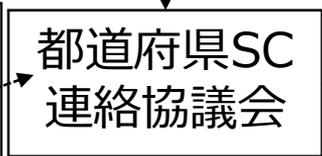
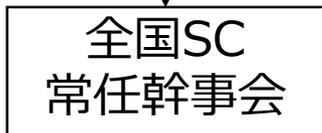
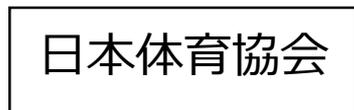
<質的充実>

<特定テーマ・

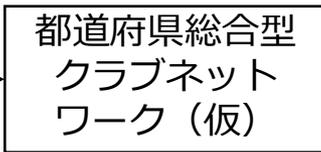
エリアネットワーク>

<地域活性化>

総合型スポーツクラブ



<業務委託>



<登録・認証クラブ>

^ 業務委託 v



<170のコミッションの創設>

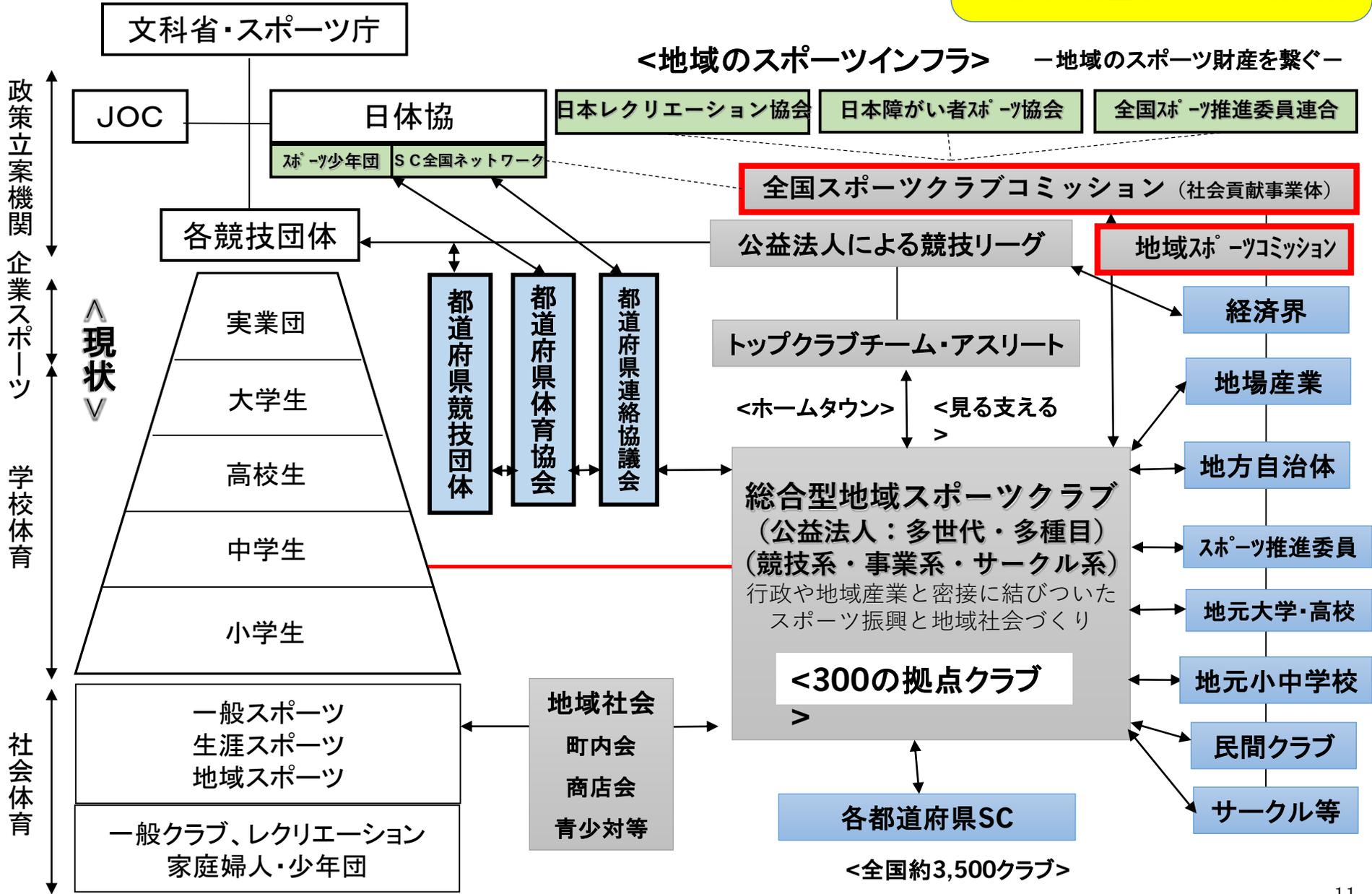
スポーツツーリズム

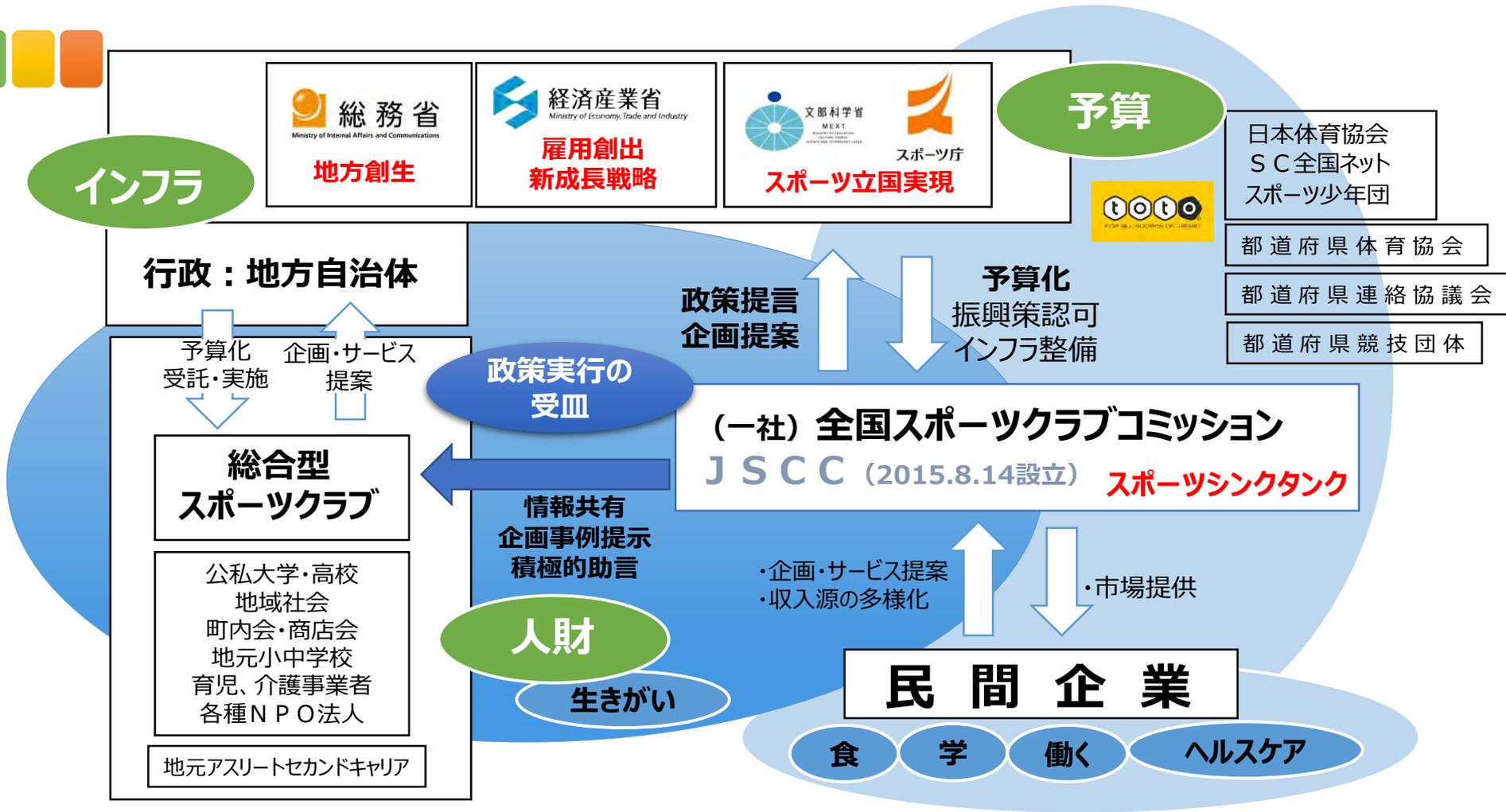
—地域の特色を生かした地域のスポーツ財産を繋ぐ事業体組織作り—

<地区体協・スポーツ推進委員・日レク・日クラブ・障がい者・地域包括・文化・産業>
 情報共有プラットフォームで地域スポーツの総合的マネジメント

地域スポーツの構造改革の実践

- ・ 競技・生涯スポーツの連携
- ・ 地域スポーツと企業との協働
- ・ 地域に有益なスポーツ界実現





JSCCは「**総合型スポーツクラブ振興ソリューション**」を展開。（課題解決型組織）
 スポーツに軸足を置き、地域行政の社会的課題の解決を担う、企画、情報、人、運用実行能力の提供可能な組織としての、「総合型SC」の自立と発展の為に、具体的な事業実施をサポートする。

- 中央行政機関の情報と事例を共有化し、各SCへ情報発信。行政の政策推進計画を実行し、政策提言を行ない、予算化を促します。
- 各クラブの運営で、蓄積されたナレッジを活用して、民間企業と連携する企画を創出（経営基盤強化、収入源の多様化を目指す）
- コーディネーション機能を強化し、地域特性にあわせた企画の展開（人的リソース活用方法、クラブ運営者育成の具体例を提示）
- SCのコンサルティングサポート。（マネージメントの助言、業務設計、IT技術の導入など）
- SC間のネットワーク化を推進する、中間支援組織の形成。情報収集（クラブ間交流、会員データ管理、分析）

一般社団法人東京スポーツクラブコミッション

Tokyo Sports Club Commission (TSCC)

<理念>

スポーツ基本法・スポーツ基本計画に則り東京都民に対してスポーツの普及振興に関する事業を行い、東京のスポーツファン(する、みる、支える)を増やし、スポーツで地域を活性化させると共に、東京132の総合型地域スポーツクラブが充実発展することでスポーツ健康立国として、国民の健康で文化的な社会生活の基盤を構築するとともに、日本のスポーツビジネス(社会貢献事業)の発展に寄与します

<法人内容>

団体名:一般社団法人 東京スポーツクラブコミッション

所在地:東京都 大田区 中馬込 1-1-17-504

ホームページ:<http://tsc.tokyo>

代表:桑田健秀(会長)

理事:高田忠則(副会長) 師岡文男(副会長) 細貝充(専務理事) 矢子達哉(事務局長) 矢部一 茨田忍 紙本論

監事:谷塚哲 根本文雄

設立日:平成21年7月8日(東京スポーツリンク)

登記変更:平成29年9月(東京スポーツクラブコミッションへ組織変更)



← TSCCロゴ

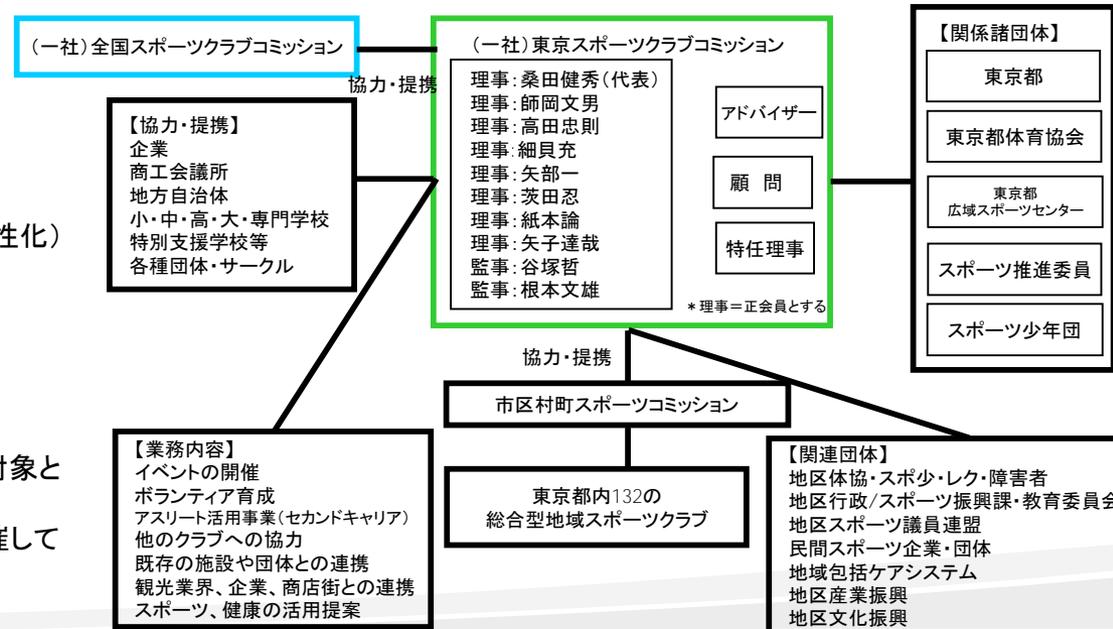
<主な活動内容>

- 1.総合型地域スポーツクラブの活性化 クラブ間の交流
(情報・運営・指導者・宣伝・アスリートの共有)
- 2.スポーツ組織間の相互支援事業
- 3.スポーツ大会 イベント・教室等の企画・開催・運営事業
- 4.アスリートのセカンドキャリア支援
- 5.高齢化社会に向けて生きが、活動の場づくり(地域の活性化)
- 6.部活動指導
- 7.運営受託業務(地元スポーツクラブと連携)

<今年度活動内容>

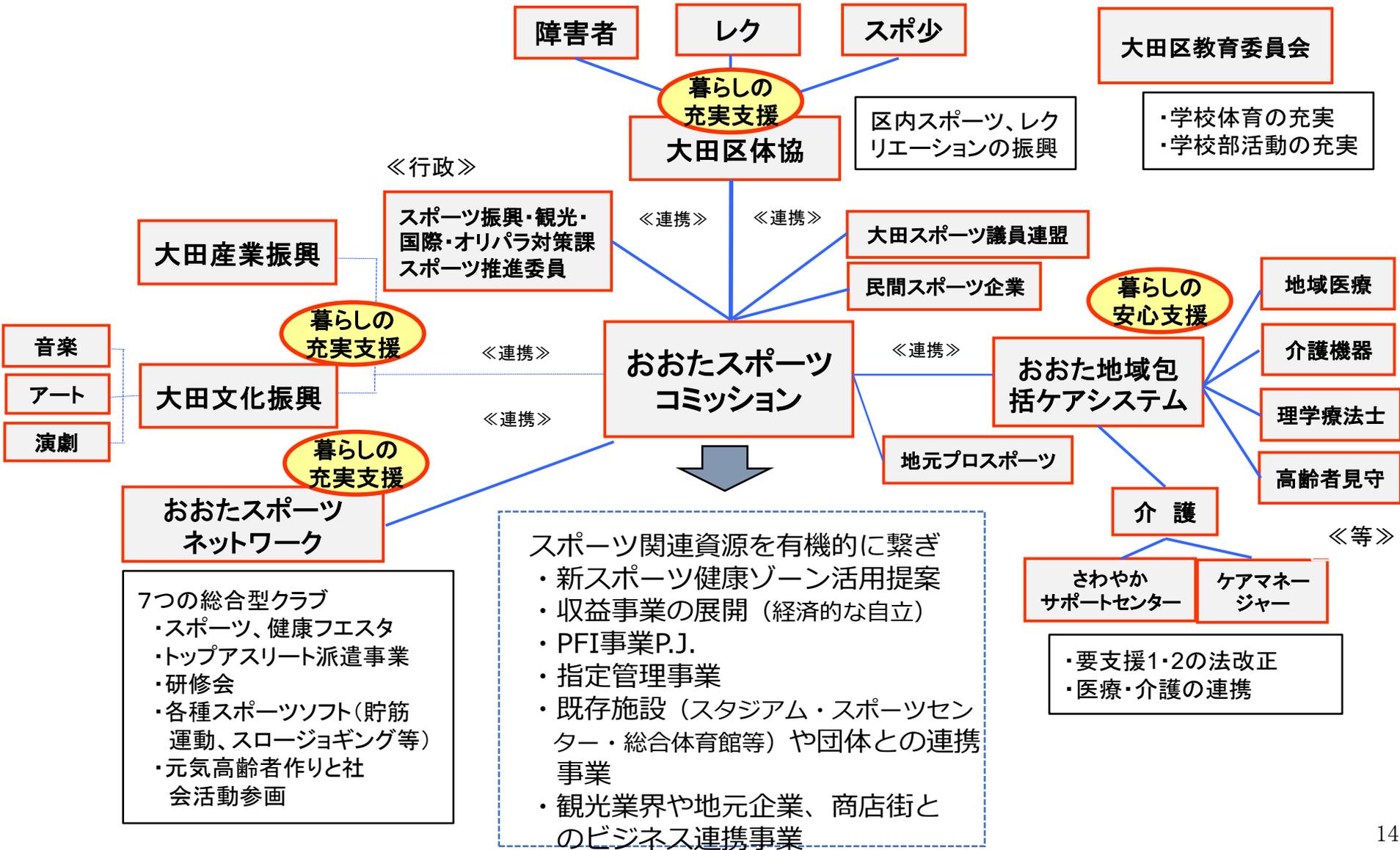
- 1.全国クラブ会議2019東京の開催に向けた準備
- 2.大会の開催(共催) 8月荒川区にてボッチャ大会の開催
- 3.教室の開催 都内特別支援学校にて在校生 卒業生を対象とした教室の開催(6月開催 秋以降も開催予定)
- 4.タウンミーティングの開催 エリアごとにミーティングを開催してクラブ間の情報、人材などの交流

事業モデル



大田スポーツ振興総合プロジェクト 地域資産マップ

～地域スポーツを軸とした街づくり～



◎「おおたスポーツコミッション」OSCとは

スポーツが秘める可能性を最大限に引き出し、大田区に点在するスポーツ資源の機能を高め、官民挙げてそれらをコーディネート（繋げる・**リエゾン**させる）する**プラットフォーム**です



障がい者スポーツ：運動会・継続的な場の確保 / 高齢者：健康体操発表会・認知症予防 / 青少年：教室 / 中学部活動：指導支援・運動嫌いな生徒対策 / 小学生体力強化：スポーツ鬼ごっこ・わんぱく相撲 / 地域：スポーツごみ拾い / 3 on 3 / フリースローコンテスト

スポーツを「ベース」としてハードとソフトのインフラを使って、世代と地域を機能的・効果的にリエゾンします

スポーツコミッションの設立 「おおたスポーツコミッション」

スポーツが秘める可能性を最大限に引き出し、大田区に点在するスポーツ資源の機能を高め、官民挙げてそれらをコーディネート（繋げる・リエゾンさせる）するプラットフォーム

スポーツコミッション

(委員会)

- ・健康経営
- ・プロチーム
- ・新スポーツ健康ゾーン
- ・中学校部活支援
- ・障がい者スポーツ支援
- ・スポーツエリアマネジメント
- ・ビーチスポーツ振興

(運動場所の確保)

- ・地域資産の棚卸
- ・公園活用
- ・空き倉庫・空地活用

地域包括ケアシステム

スポーツ推進委員

教育委員会
学校体育
部活動

大田区スポーツ協会
競技実施・普及
指導者育成
競技力向上

社会登録団体
小中学校施設調達会議
エリアマネジメント
スポーツ施設のコーディネート

日本工学院

ヤマトフォーラム

総合型地域スポーツクラブ
地域の核
運営質の充実
ネットワーク
セカンドキャリアの場

障がい者スポーツ 運動会・継続的な場の確保
高齢者 健康体操発表会・認知症予防
青少年 教室
中学部活動 菅原先生・運動嫌いな生徒対策
小学生体力強化 スポーツおにごっこ・わんぱく相撲
地域 スポーツごみ拾い 3 on 3 フリースロー大会

区民ウォーキングマップ

観光・ツーリズム
クロスミントン世界大会
大相撲大田区場所
タイ国サッカーチーム合宿

商工会議所 中小企業働き方改革
企業運動会
工業会議所
スポーツ用具開発製造
アスリートのセカンドキャリア

商店街連合会

新スポーツ健康ゾーン
古沢・平和島地区



大森スポーツセンター



平和島ユースセンター
合宿・国際交流



大田スタジアム



大田区総合体育館



大森ふるさとの浜辺公園

スポーツを「柱」としてハードとソフトのインフラを使って、世代と地域をリエゾンします

(一社) おおたスポーツコミッション発起人

東京商工会議所大田支部会長 ※	浅野 健	(株)金羊社代表取締役会長
セントラルスポーツ株式会社 営業本部アカデミー部研究員	白井 淳一	
2018年度東京J C大田区委員長	金山 春樹	ソニックス(株)常務取締役
大田区スポーツ審議会委員	桑田 健秀	NPO法人地域総合スポーツ 倶楽部・ピボットフット理事長
大田未来ビジョン委員会共同委員長 情報・サービス副分科会長	惟村 唯博	光写真印刷(株) 代表取締役社長
産経新聞東京本社特別記者論説委員	佐野 慎輔	
(一社) 大田観光協会会長	田中 常雅	
学校法人片柳学園副理事長	千葉 茂	
学校法人上野塾東京実業高等学校校長	知念 義裕	
(公財) 大田区体育協会理事長 ※	野川 春夫	順天堂大学特任教授
東京都立雪谷高校校長	原田 能成	
障がい者スポーツ指導者研究会理事長	森 相子	
(株)ジェイコム大田代表取締役社長	柳田 聡	
おおた地域スポーツクラブ ネットワーク会長	渡辺 義太	有限会社渡辺製作所 取締役

※は発起人代表

< 目 次 >

第1章 計画策定にあたって		第4章 施策の方向性	
1 計画の背景	3	1 誰もがいきいき暮らせる地域づくり	43
1.1 スポーツの役割の拡がり	3	1.1 スポーツに親しめる機会の充実	43
1.2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催	5	1.2 障がい者スポーツの推進	44
1.3 国の動向	6	1.3 スポーツによる健康づくり	46
1.4 大田区のこれまでの取組	13	1.4 スポーツを通じた高齢者の元気維持	48
2 計画の枠組み	17	1.5 地域スポーツの担い手づくり	50
2.1 計画の位置づけと役割	17	2 スポーツを通じた地域の活かづくり	52
2.2 計画期間	17	2.1 スポーツコミッションなどによる交流人口の拡大	52
第2章 大田区の現状と課題		2.2 スポーツものづくり産業の振興	53
1 スポーツ施設	19	2.3 新スポーツ健康ゾーンにおける先進モデルづくり	54
1.1 スポーツ施設などの立地状況	19	3 スポーツによる国際交流の推進	57
1.2 主要な施設の現況	20	3.1 スポーツを通じた国際交流	57
1.3 その他の施設の状況	21	3.2 東京2020大会を契機としたまちづくり	58
1.4 新スポーツ健康ゾーン	23	4 スポーツ健康都市を支える基盤の整備	60
2 スポーツ推進の実施主体	26	4.1 スポーツ実施の担い手を支える人材の育成	60
2.1 大田区体育協会	26	4.2 身近なスポーツの場の開発	62
2.2 スポーツ推進委員(旧体育指導員)	27	4.3 公共スポーツ施設の維持・管理	63
2.3 総合型地域スポーツクラブ	27	4.4 広報・情報発信機能の充実	65
2.4 スポーツ施設運営管理者	28	第5章 計画の推進に向けて	
2.5 トップチーム	29	1 計画の推進体制	67
2.6 高齢者施設	29	1.1 区の関係部局間の横断的体制	67
2.7 障がい者施設(区立施設)	30	1.2 各種団体間の連携と協働	67
2.8 学校・幼稚園・保育園・児童館	30	1.3 民間事業者などとの連携	68
3 スポーツ施策	31	2 計画目標	69
3.1 するスポーツ	31	関連資料	
3.2 みるスポーツ	32	1 区民スポーツニーズ調査結果	71
3.3 ささえるスポーツ	32	1.1 調査概要	71
3.4 東京2020大会に向けた施策	33	1.2 調査結果のポイント	72
3.5 スポーツを通じた健康増進	34	2 スポーツ推進審議会名簿等	76
3.6 スポーツの成長産業化	34	2.1 大田区スポーツ推進審議会	76
4 区民のスポーツ活動実態と意識	35	2.2 「大田区スポーツ推進計画(改訂版)」策定庁内検討会	76
4.1 スポーツ・運動習慣について	35	3 審議会・庁内検討会等	77
4.2 身近なスポーツ環境について	36		
4.3 大田区のスポーツ施策について	36		
4.4 高齢者の元気維持について	37		
4.5 東京2020大会について	37		
第3章 基本的な考え方と全体像			
1 計画方針	39		
1.1 計画の基本方針	39		
1.2 スポーツの定義	39		
2 計画の理念	40		
3 施策の全体像	41		
3.1 基本目標の設定	41		
3.2 施策の体系	42		

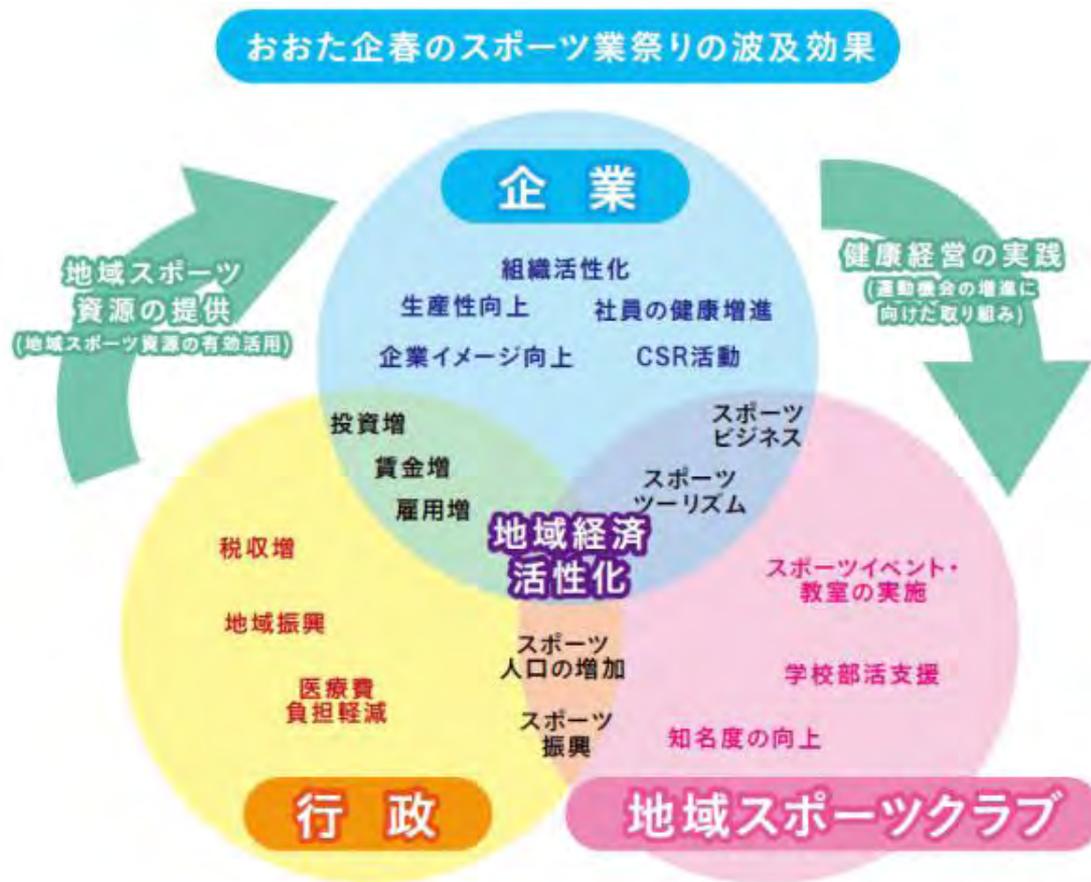
【元号・西暦表記について】

本計画策定時点において平成に代わる元号が未定であるため、元号表記を平成のまま用いる。また、元号と西暦を併記する。

おおた企業スポーツ祭り2017開催趣旨

「おおた企業春のスポーツ祭り2017」は、大田区の地域振興を主たる目的としており、このイベントは、地域振興のために、大田区に本社を置く企業の健康経営を、行政・地域スポーツクラブがサポートする形で行われ、行政・企業・地域スポーツクラブネットワークが、お互いの垣根を越えて作り上げた、三位一体型の新しい形のスポーツイベントです。こうした活動を支援することが、スポーツ人口を増加させ、スポーツ振興につながり、地域スポーツクラブは、活動の場を広げることができます。

日時：2017年3月19日
場所：大田区総合体育館
主催：おおた地域スポーツクラブネットワーク
共催：大田区
後援：大田区体育協会、東京商工会議所大田支部



参加企業：区内中小企業幹事会社 4 社含め27社
従業員家族含め420人
NPS調査を実施：幹事会社従業員満足度を計測

従業員の健康づくり 合同で



企業対抗のチーム戦で綱引きをする参加者＝大田区総合体育館で

大田区内16社、運動会

スポーツ祭り2018」が二十六日、大田区総合体育館であった。企業対抗での大縄跳びや綱引き、リレーといった競技などで得点を競った。(山田祐一郎)

ることなどが目的。区内には中小企業が多く、各社単独では運動の機会を設けにくい。地域でスポーツクラブを運営する団体を中心となって

450人競技、組織活性化図る

グループ企業や取引企業ごとに四つのチームに分かれて対戦。最後のリレーでは、男女が混合で全力疾走。転倒する参加者もいたり、最後尾から猛烈な追い上げを見せるなど、最後は大接戦となり、会場からは大きな拍手がわき上がった。会場ではまた、握力や垂直跳びなどの体力測定も行われ、数値が競技得点に加算された。

主催者によると前回終了後、参加者にアンケートを実施したところ、自身が勤める企業への愛着や信頼度を示す数値が上昇したとの結果も出たという。

運動会終了後は、懇親会もあり、参加企業の従業員同士が交流した。優勝チーム代表の建設会社サンユー建設の馬場宏二郎社長(四)は「運動会に向けて社員同士でスポーツをやるようになったり、仕事以上のつながりができ、一致団結できる」と運動会の意義を話した。

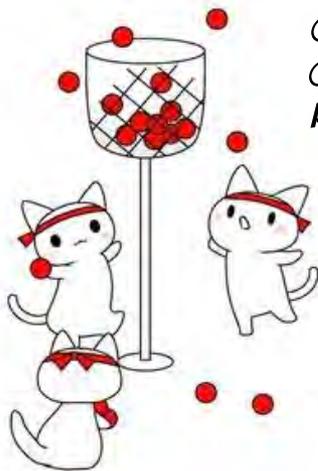
第1回 おおた障がい者運動会

2018年3月25日(日)

大森スポーツセンター メインアリーナ

大田区内の障がい者の方々および家族の皆さん、周辺住民の皆さん！一緒に楽しみましょう！

参加者
募集中



○大田区玉入れ
○スポーツ模範演技

○綱引き

○ダンスタイム

障がいがあっても、なくても、子供からお年寄りまで
みんなで楽しめるプログラム！
参加費無料！ 参加賞がもらえる！

■開催日時

2018年3月25日(日) 10:00~15:30
(受付は9:20~)

■開催場所

大森スポーツセンター メインアリーナ

■申込方法

裏面の申込書にてお申込ください。

★当日参加、個人参加も大歓迎！

★車椅子ご利用の方以外は、
上履きをご用意ください。

★昼食は、各自ご用意ください。

- 主催 おおた地域スポーツクラブネットワーク
- 共催 (一社)おおたスポーツコミッション
- 後援 大田区・(公財)大田区体育協会・(一社)大田観光協会
株ジェイコム大田、(一財)日本スポーツコミッション
- 協力 NPO法人大田区障がい者スポーツ指導者研究会
大田区手をつなぐ育成会
- 主管 おおた障がい者運動会実行委員会2018

◎お問い合わせ先

NPO法人 大田区障がい者
スポーツ指導者研究会
080 - 8877- 4406






大相撲

平成三十年秋巡業
東京大田場所

大田区 **初** 巡業
秋は蒲田で
大相撲に会おう

秋の陣

平成30年 10.3 (水) 開催 | 大田区総合体育館

入場チケット絶賛発売中

主催：東京大田場所実行委員会 実行委員長：沢田大作

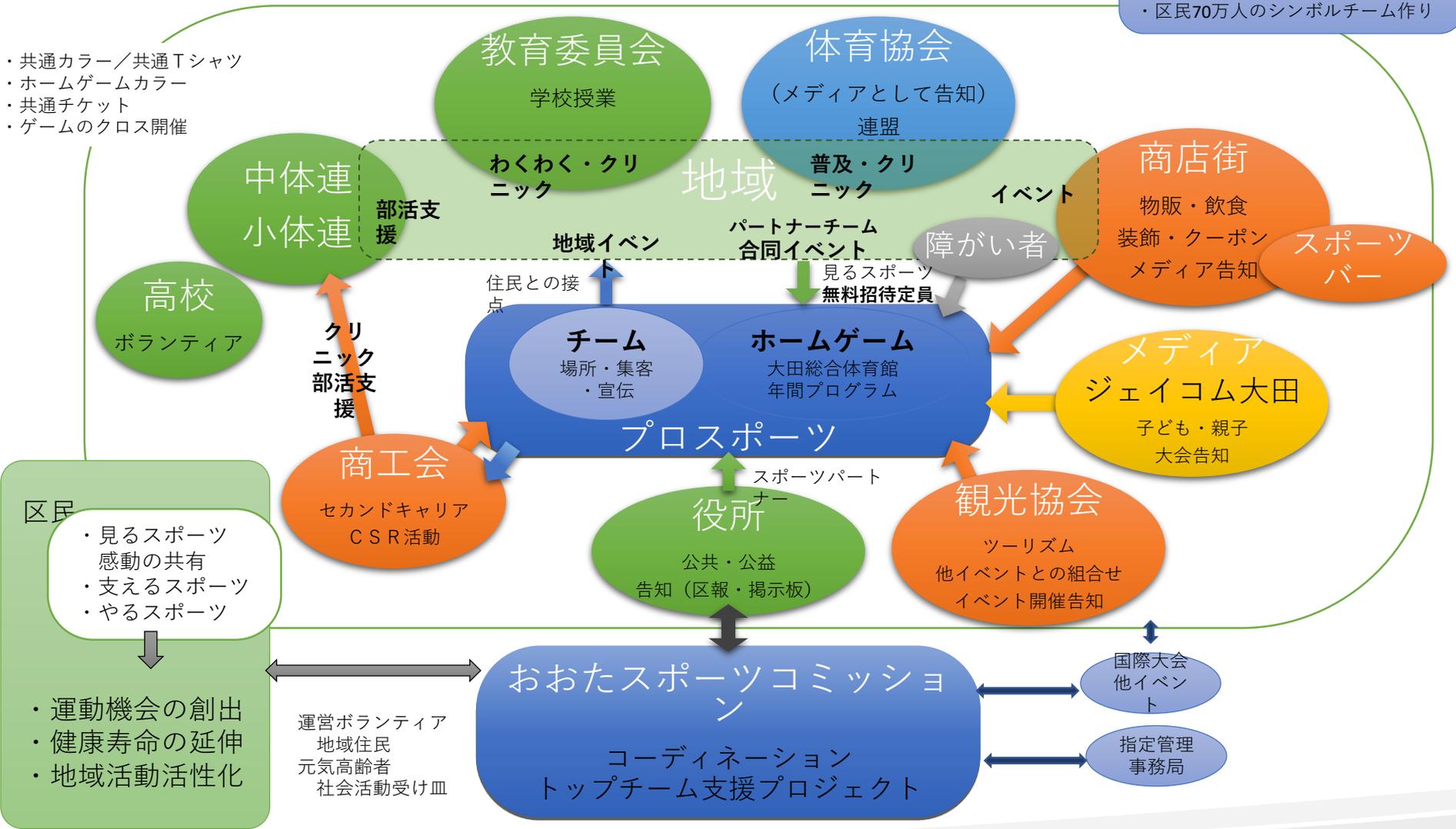
※観客270名が参加。怪我や休場などの事情により参加する力士に変更の可能性がございます。



大田区スポーツブランディング構想

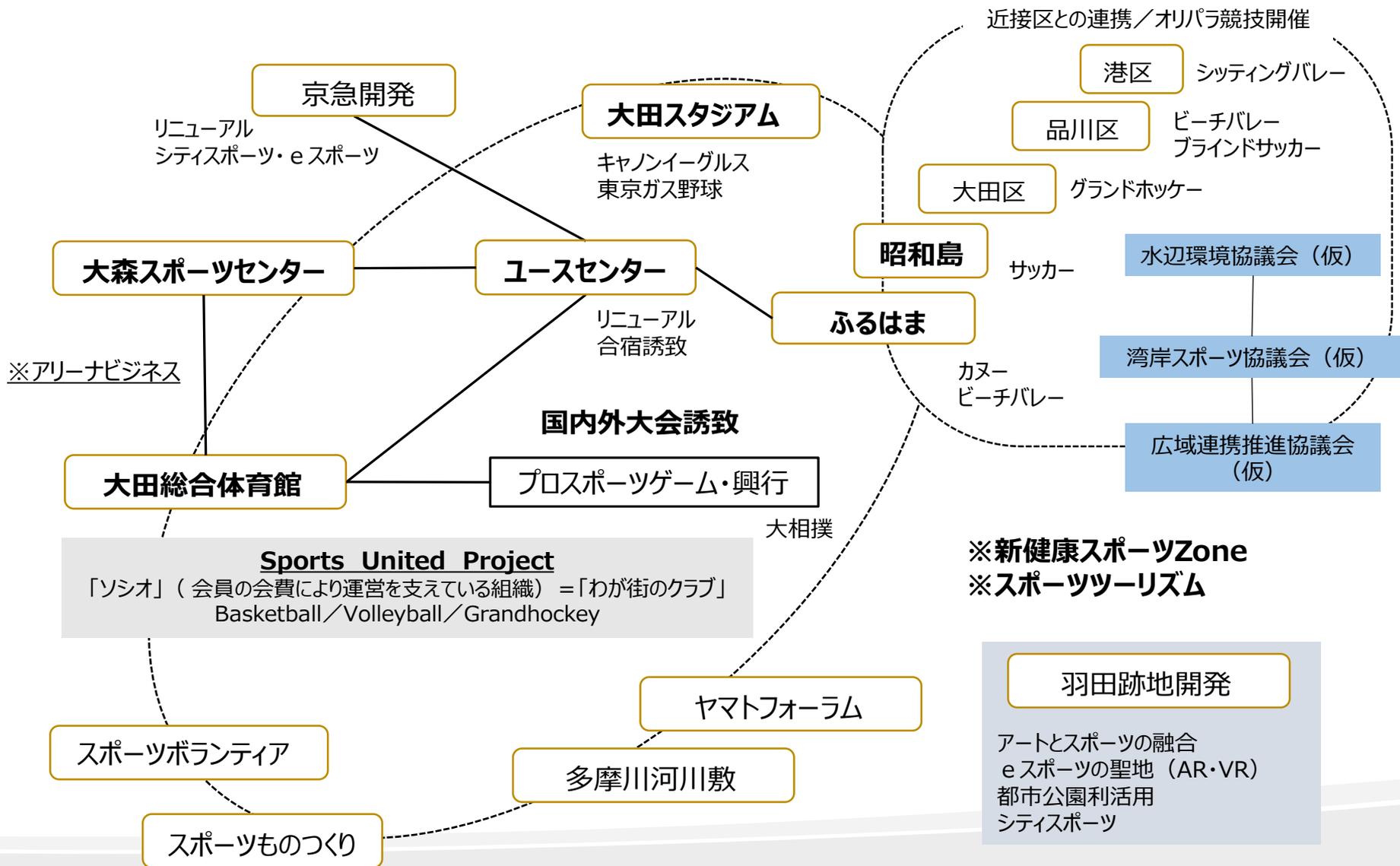
見る文化を造る
 ・マニア以外の動員と告知
 ・区民70万人のシンボルチーム作り

- ・共通カラー／共通Tシャツ
- ・ホームゲームカラー
- ・共通チケット
- ・ゲームのクロス開催



「Sports United OHTA Project Map」

～スポーツのある街・賑わいのある街・居心地の良い場所作り～



大田区でのホッケー振興スキーム

2020東京五輪正式種目



する

- 学校・公共施設
- 地域スポーツクラブ
- スポーツ推進委員
- マイホッケープラス



みる

- 日本ホッケー協会
- 地元チーム結成
- おおたケーブル
- 国内外大会誘致



ささえる

- 大田区・品川区
- 地域スポーツクラブ
- 多文化共生
- 協会連盟の結成

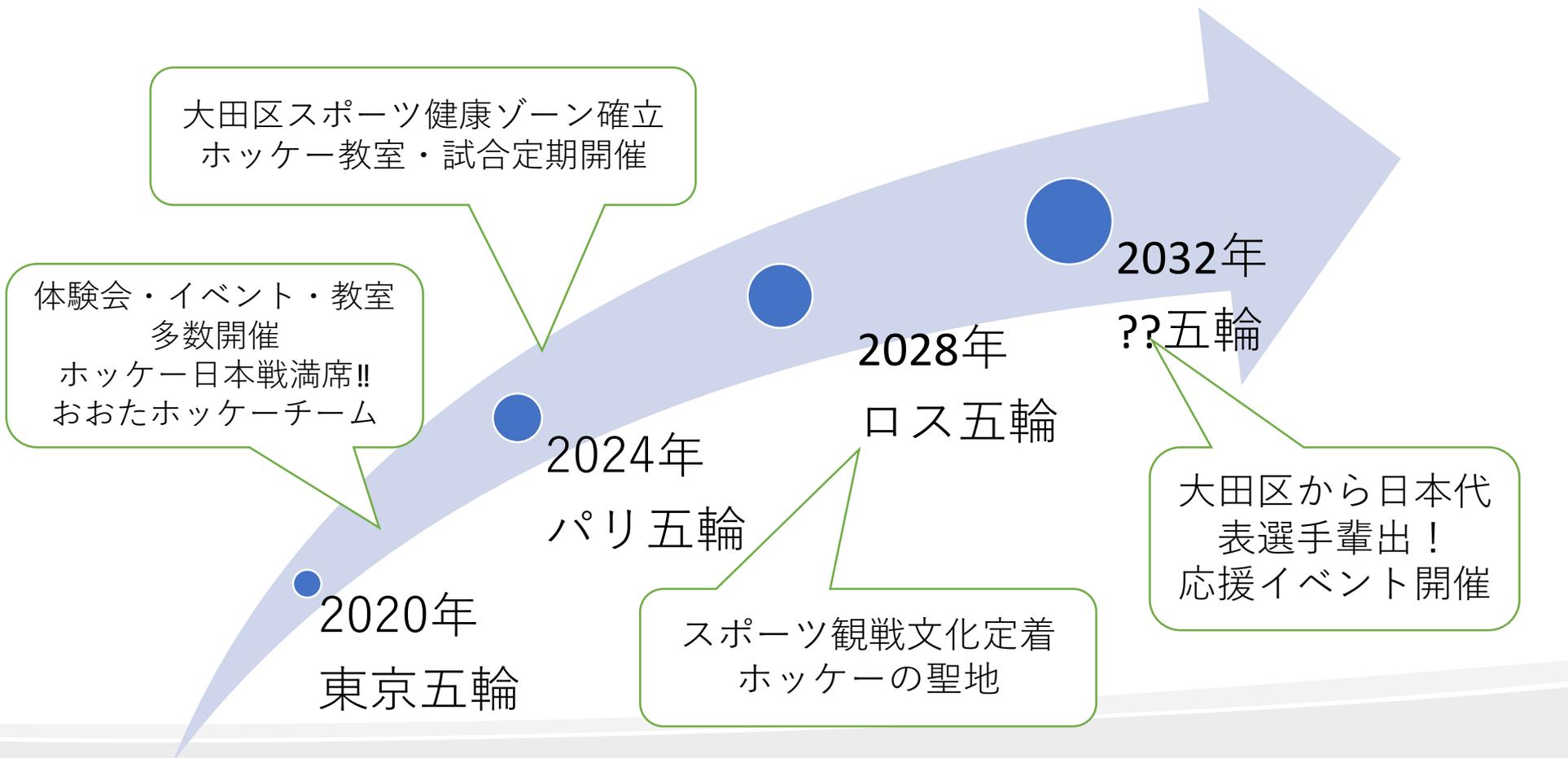


つくる

- 中小企業
- 産業振興
- 観光協会
- 用品用具製造

おおたスポーツコミッション

ホッケーによるおおたスポーツレガシーの目標



2019年4月17日(水)～4月21日(日)

おおた 健康 応援 ウィーク

4月17日(水)
4月19日(金)
10:00～16:00

1F イベントスペース

5つの体力測定 & イスYOGA

参加者には専用手帳プレゼント!

5つの 体力測定

- ちからのテスト
- 身長さのテスト
- 歩き方のテスト
- がんばった歩き方のテスト
- バランスのテスト

はつらつ 元気手帳

4月21日(日)
10:00～16:00

3F エスカレーター横

かけっこ力測定

きみの走りを専用マシンで測定!

小学生なら参加できます!

大人の方はウォーキングの特性も分析します!

測定後、分析結果の説明が聞けます



4月21日(日) 11:00～14:30

3F エスカレーター前広場

チアリーディング&リズムダンス パフォーマンス

地域の方たちの健康増進を応援します!

チアリーディング: VICKIES / TURTLES / BELIEVES
リズムダンス: 蒲田 / 羽田 / 大森 Micky CREW

1回目ステージ 11:00～12:00
2回目ステージ 13:30～14:30



主催：一般社団法人 全国スポーツクラブコミッション
共催：一般社団法人 おおたスポーツコミッション
イトーヨーカドー大森店
後援：大田区
公益財団法人 大田区体育協会
おおた地域スポーツネットワーク
NPO 法人大田区障がい者スポーツ指導者研究会

協賛：株式会社 イトーヨーカ堂
協力：NPO 法人ビボットフット
NPO 法人スポーツ・サンクチュアリ・川口

第2回

主催：日本認知症予防学会エビデンス創出委員会ダンス療法部門
後援：学校法人日本体育大学 株式会社ルネサンス 公益社団法人日本フィットネス協会
一般社団法人おたスポーツコミッション おた地域スポーツクラブネットワーク
協力タ特定非営利活動法人地域総合型スポーツ倶楽部 ピボットフット
特定非営利活動法人大田区障がい者スポーツ指導者研究会

認知症なんかこわくない！ ダンス療法フェスティバル “元気高齢者倍増計画”

～地域でも・施設でもできる、楽しく効果的な運動・ダンスを学ぼう～

健康長寿のためには、楽しく・効果的に・継続して体を動かすことが大切です。日頃、シニアの皆さまを対象に、運動やダンスのレッスンを行っている指導者達が、認知症予防効果が期待されるダンスを披露します。参加される皆様には、シニア向けのさまざまな運動やダンスを楽しみながら覚えていただけるチャンスです。指導者の皆さまも指導の秘訣やコツを互いに学びあいましょう！

実行委員長 利根川 久女紅

(日本認知症予防学会エビデンス創出委員会ダンス療法グループリーダー)

日時

2019年

6月9日 日 10:00開場-17:00終

ヤマトフォーラム 東京都大田区羽田旭町11-1

内
容

(京浜急行空港線 穴守稲荷駅下車 徒歩5分)

- (1) 阿部康二教授(岡山大学脳神経内科学)による講演
- (2) 井上昌彦医師(いのうえ内科クリニック院長)、
杉浦龍太医師(井上医院院長)による認知症相談
- (3) 臨床心理士及び認知症予防専門士等による認知機能検査の実施
- (4) レッツダンス！一緒に楽しく動きましょう♪
 - 日本認知症予防学会認定認知症予防専門士によるレッスン
 - シニア向け指導者によるレッスン
- (5) 日本体育大学ダンス部によるパフォーマンス
- (6) ダンス活動の効果に関する簡単なアンケート、検査
- (7) フィットネス用品・認知症予防グッズの展示及び体験コーナー

◎当日は上履き、動きやすい服装、タオル、昼食、飲み物、着替、ピクニックシートなどをご持参ください。



ご協力いただきたい検査 (任意)

- ・日常生活に関するアンケート調査
- ・ダンス前後の気分、体の変化に関するアンケート調査
- ・認知機能検査→100名(予定)

自立経営するハイブリッド型の地域スポーツ組織

(スポーツによる地域活性化を担う事業体についての検討会 より)

収入源と展開ビジネス例

地域貢献

組織価値

雇用人材

マーケット①：地域内

(従来の“地域スポーツ振興組織”視点からの進化)

- 住民からの収入
 - ・地域スポーツクラブ会費
 - ・スポーツ教室／イベント参加費
 - ・スポーツ商材販売
 - ・その他物販事業収入

- 地域行政からの収入
 - ・指定管理者収入
 - ・スポーツ団体事務局業務
 - ・イベント開催支援
 - ・学校授業支援
 - ・健康サポート事業

- 企業・団体からの収入
 - ・連携・協働事業展開収入
 - ・指導者派遣収入
 - ・ネーミングライツ
 - ・協賛金

マーケット②：地域外

(従来の“スポーツコミッション”視点からの進化)

- スポーツツーリストの誘客
 - ・スポーツイベント開催
 - ・合宿誘致
 - ・大会の誘致

- ツーリストからの収入 (事業体の経営安定へ)
 - ・合宿、キャンプ付帯サービス収入
 - ・イベント事業収入
 - ・自前合宿所・宿泊施設収入
 - ・(物産などの)物販収入

- 企業・団体 (地域外) からの収入
 - ・ネーミングライツ
 - ・協賛金 など

スポーツによる地域活性化を担うハイブリッド型組織

(複合的に事業を展開し自立経営)

- ・住民が求める**公共的なスポーツサービスの維持・発展**
- ・地域に必要なスポーツ組織の**事務局・ハブ的な機能**

- ・宿泊及び滞在に係る消費
- ・観光関連産業収入 (交通・施設・飲食・物販等)

・スポーツツーリスト誘客による**地域への経済効果創出**

スポーツを核に複合的な事業展開で自主財源を確保し、地域住民に求められる公共的なスポーツサービスを提供し、地域への経済効果をも創出する地域に不可欠な事業体

- ・地域に根ざした事業体として、地域人材の雇用創出・育成 (地域に雇用を提供する／新たな仕事を創る)
- ・ポテンシャル・モチベーションの高い人材の登用 (地方創生志向・スポーツ系ジョブ志向の人材、アスリートOB等の登用、スポーツ移住の促進)
- ・民間企業のノウハウ・リソースの活用 (官民協働)

スポーツによる地域活性化を担う組織

※ パブリックサービスと収益事業をともに担う事業体

新たなプラットフォーム
地域スポーツ統括組織
 地域にとって不可欠の組織

行政

運動部
 (学校の部活動)

(課題)
 競技に精通した指導者が不足している。
 (顧問の先生が必ずしも競技に精通していない。)

(課題)
 人口減少を見据え、スポーツ行政も効率化したい。可能なものはアウトソーシングしたい。
 (希望)
 スポーツ関連組織にはもっと自立してもらいたい。(補助を減らしたい。)

障害者スポーツ

(課題)
 障害者のスポーツ実施率向上、健康増進など

スポーツ施設
 学校体育施設

(課題)
 もっと有効活用すべき
 (稼働率の向上)

体育協会

施設管理
 (指定管理者)

総合型スポーツクラブ

地域にあるスポーツ関連組織

- | | |
|--------------------|---------------|
| パブリックサービス
(非営利) | 収益事業
(営利) |
| 体育協会 | 総合型スポーツクラブ |
| スポーツ推進委員協議会 | 指定管理者 |
| スポーツ少年団 | スポーツコミッション など |
| 各種競技団体 | |
| レクリエーション協会 | |
| 学校の部活動 など | |

各競技団体

スポーツ推進
 委員協議会

スポーツ少年団

レクリエーション協会

(課題)
 事務局機能が弱い
 (総務・経理のプロがいない)

観光協会

スポーツ
 コミッション

(課題)
 スポーツツーリズムの推進
 (域外からの誘客)

民間スポーツ
 クラブ

(課題)
 ノウハウの有効活用
 (顧客 = 地域住民の満足度向上)

<参考事例>

- ・掛川市体育協会 (静岡県掛川市)
- ・留萌体育協会 (北海道留萌市)
- ・出雲スポーツ振興21 (島根県出雲市)
- ・A-lifeなんかん (熊本県南関町)

※ 営利・非営利問わずスポーツに関連する業務を幅広く展開している。

JSCCの事業取り組み①

➤ JSCCスポーツクラブ総合補償制度

- ・ Chubb損害保険会社と契約により、団体賠償5億円をプラスした総合保険です。
- ・ 加入クラブにも事務手数料をお支払いし、年一回の更新で事務処理が大幅に軽減。

➤ FA Project (吉本興業)

- ・ 地域の運動会、企業運動会、イベント等にタレント、アスリートを派遣し集客につなげ、吉本興業社会貢献事業として、ビジネスにつなげる。

➤ Be ambitious Project

- ・ スポーツの発信力を、経済の推進力として活用し、社会にスポーツが浸透した、スポーツ先進国日本を目指すプロジェクト。脊髄損傷者の歩行トレーニング費用の支援活動

➤ IMG Project

- ・ スポーツ選手・モデルのマネージメント及びスポンサーシップ契約、イベント企画運営、ライセンス、コンサルティング、及びテレビ、インターネット、コンテンツ、制作・販売

➤ アサヒ飲料

- ・ Wi-Fi搭載型自動販売機の設置。地域のウォークラリーなどのイベントに活躍

JSCCの事業取り組み②

➤ Athlete Planning

- ・ドイツの教育プログラムを採用（バルシューレ）
- ・こどものスポーツ教室を運営(500名以上通う教室)
- ・スポーツ庁より日本トップ機構のサポート、スポーツエージェントとの協業
自治体～企業～市民～総合型SCの連携を構築し、地域の活性化に繋げる。

➤ 清林館高校 Project

- ・廃校となる学校施設の有効活用事業。クラブ運営、介護事業、障がい者ケア事業、など地域の包括ケア拠点としてのプログラム展開。

➤ 全国クラブ会議2019 in TOKYO

- ・別紙参照

➤ その他

- ・和民 ・Mizuno ・セブンアンドアイ ・船舶振興会
- ・バスケットボールフリースロー大会 ・エイベックス・エンタテイメント（音楽）
- ・ARスポーツ「HADO」 etc.